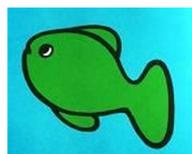
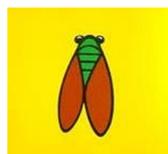


教材名	ハ○太郎といろいろな名前		
指導の形態	国語	ねらい	・身近な人やものの名前，動作や状態を表す言葉などを理解する。

【写真】



指導方法

- ①…ハ○太郎の絵カードを机の上に置き，「ハ○太郎」とTが言う。
- ②…絵カードを机に置いた状態で，Tが「ハ○太郎」と言い，児童がそのカードをTに手渡すように誘導する。
- ③…次に2枚のカードを使って上記のやりとりを繰り返す。
- ④…本児にとって興味関心が高く，発語の可能性のある物（どんぐり，あり，せみ，さかな，かめ，ねこ）を用いながらカードの枚数を増やしていく。
- ⑤…学習のパターンが身に付いてきたら，家族の顔写真カードも増やし，「おかあさん」「おとうさん」「○ーちゃん」という呼び名にも親しませていく。

備考

（指導の仕方，準備物など）

- ・ 本児が強い興味関心をもっているキャラクター（ハ○太郎）などを手がかりにして，ものの名前や家族の呼び名を絵や写真カードと結びつけて言ったり，聞き取ったりする。